

【 食品残渣のリサイクルループの実現】

株式会社マルマタ

| | |
|----------|---|
| 事業目的 | 化学肥料が高騰している中、農水省のみどりの食料システム戦略に合致する化学肥料から有機農業への転換をすすめる効果が期待されることから、弊社で食品廃棄物処理しているミネラルが豊富に含まれている国産の殻（昆布・かつお節）や野菜を堆肥として有効活用すること。契約農家でその堆肥を使用した野菜作りを行ってもらい、出来た野菜を仕入れ食品残渣のリサイクルループの実現化が目的です。 |
| 事業概要 | 年間 100 kg×276 日＝27,600 kgの食品残渣（産業廃棄物）をバイオコンポスターで処理し、約 80%（22,080 kg）が減量され、約 5,520 kgの堆肥を作成していきます。 堆肥化の流れといたしまして、菌の力で生ごみを分解処理し、生ごみ処理機（バイオコンポスター）を活用して堆肥を作成していきます。（株）マルマタから出た食品残渣を堆肥化し、運搬、株式会社バイオセラー様に成分調整後、契約農家で堆肥として利用していただき野菜栽培をしていただきます。 |
| 事業結果 | 令和5年3月に生ごみ処理機（バイオコンポスター）の設置を行い1ヶ月程の稼働になりますが、食品残渣（産業廃棄物）1,754 kgを投入し堆肥として368 kg（約20%）作成することができ、食品残渣（産業廃棄物）を1,386 kg（約80%）削減する事が出来ました。削減する事により処分費用のコストの削減、生ごみの焼却処理を減少しCO ₂ の削減にも貢献出来るようになりました。 |
| 今後の課題と方針 | 1ヶ月程の稼働で、現在、堆肥の成分調整を株式会社バイオセラー様に行っておりまして、 今後、出来た堆肥を契約農家に使用していただくように交渉を行い、野菜栽培に使用していただき、その野菜を（株）マルマタで購入することで食品残渣のリサイクルループの実現を目指していきます。 |